

JCAS とは

地域研究コンソーシアム (Japan Consortium for Area Studies, JCAS) は、地域研究に携わる日本の研究・教育機関、学会、市民団体などによって構成される組織体です。2004年、多くの大学や研究機関などに散らばっていた地域研究の組織や研究者の団体をつなぎ、組織の枠を超えた情報交換や研究活動を進めることで地域研究を発展させることを目的に設立されました。2012年9月現在では93の組織が加盟する地域研究のアカデミック・コミュニティです。

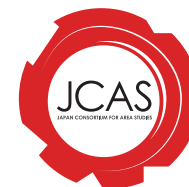
JCASは、組織の枠組みを越えて、研究、次世代養成、社会連携を相互的・双方向的に連動させ、参加組織のそれぞれが有している知や資源を幾重にも生かし、それを新たな知や活力として参加組織に還元することを目指しています。

JCASでは、年次集会シンポジウムの実施、和文学術雑誌『地域研究』の編集、JCAS賞の授賞、次世代研究者育成のための次世代支援ワークショップや、加盟組織間の研究交流を促進する各種プログラム（共同企画研究プログラム、共同企画講座プログラム、オンデマンド・セミナー・プログラム、学会連携プログラム）の公募などの事業を行っています。このほか、社会連携の促進、情報資源の共有化、地域研究方法論の検討など、地域研究の最先端を切り拓く研究を進めています。また、ポータル機能をもつJCASホームページ (<http://www.jcas.jp>) や週刊のメルマガ配信を通じて地域研究に関するイベント・公募・出版の情報を広く提供しています。

JCASの運営は、加盟組織から選ばれた幹事組織をもとに、理事会と運営委員会を組織して行っています。事務局は京都大学地域研究統合情報センターに置かれています。

事務局

〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 46
京都大学地域研究統合情報センター内
地域研究コンソーシアム事務局
TEL 075-753-9616 FAX 075-753-9602
Email: info@jcas.jp <http://www.jcas.jp/>



地域研究コンソーシアム

地域研究コンソーシアム

2012年度版

枠組みを超える ネットワーク、 研究を支援する プログラム。

共同企画研究

共同企画研究は、JCASの加盟組織同士が共同で企画・実施する研究企画を支援するプログラムです。地域研究の研究対象は実に多様であり、そのことを反映して地域研究に携わる機関も多様です。JCASの加盟組織は、それぞれが専門とする分野で地域研究の成果を蓄積してきただけでなく、所蔵資料・データベースや研究教育施設など、機関ごとに見られない特徴を備えています。JCASでは、研究者や所蔵資料をつなぎ、加盟組織を横断して行われる研究を試みてきました。さらに多くの加盟組織を巻き込んだ共同研究を促進するため、JCASに加盟する複数の組織が共同で企画実施する研究企画を支援します。



共同企画講義

共同企画講義は、JCASのネットワークを活用して特定のテーマごとに講師陣を組み、大学等で開講する「出張講義」です。今日の世界にはさまざまな課題があり、しかもその多くは複数の地域にまたがって展開されるため、大学や学部・研究科ごとの組織の縦割構造の中では、それらの課題を取り上げて多面的に講義することが困難である場合が生じます。JCASの共同企画講義は、特定のテーマに関する専門家を複数の所属先から集めて講師陣とし、要望に応じて大学等に出張して講義を行います。それぞれのテーマについて、JCASのネットワークを通じて最も適切な専門家を集め、既存の大学や学部・研究科の枠にとらわれずに最先端の研究をお届けします。



次世代支援プログラム

次世代支援プログラムは、博士後期課程の大学院生、各種研究員、助教など次世代研究者のイニシアティブによるワークショップ・セミナーの企画・開催を支援します。本プログラムでは、会議費や旅費等の単なる財政的支援だけでなく、求めに応じて企画・開催にあたっての専門的助言や、企画に適した研究者および実務者の紹介もおこないます。

これにより、大学等の研読機関の壁を超えた連携性、異なる専門領域の受流、地域研究にかかわる研究者および実務者(NGO・NPO等)による研究企画を特に奨励します。

オンデマンド・セミナー

オンデマンド・セミナーは、JCASのネットワークを利用して、社会からの要望に応じて地域研究の専門家を紹介するプログラムです。長く学界を牽引してきた著名なアジア研究者や、現地滞在経験が長く対象地域に関する深い理解と最新の情報を持った若手研究者などのように、優れた地域研究の専門家をご紹介することが可能です。国内で学べる場が少ない言語や文字の講習、異文化社会で共同作業を進めるための知識や工夫の紹介、今日の世界における問題とその背景についての専門家の意見など、セミナー、講演、ワークショップ、講習などの具体的な企画に応じて地域研究の専門家を紹介します。

【講師紹介】(アイウエオ順)

田中耕司
(たなか・こうじ)
京都大学学術研究支援室・室長(特任教授)。京都大学の東南アジア研究所教授、地域研究統合情報センター教授を経て現在に至る。専門は、東南アジア地域の農業、生物資源管理など。講演可能なテーマは東南アジアの自然・生態・農業・資源管理問題。

毛里和子
(もり・かずこ)
日本国際問題研究所研究員、静岡県立大学教授、横浜市立大学教授を経て、1999年から2010年まで早稲田大学政治経済学術院教授、現在、同名誉教授。講演可能なテーマは、現代中国の政治と外交、東アジア国際関係、現代アジア論など。

油井大三郎
(ゆい・だいざぶろう)
東京大学博士課程修了後、明治大学、一橋大学、東京大学を経て、東京女子大学教授。単著に『なぜ戦争観は衝突するか』『好戦の共和国アメリカ』などがある。講演可能なテーマは、戦争の記憶の日米比較、米国・アジア関係史、米国の多文化主義など。

JCAS
JAPAN CONSORTIUM FOR AREA STUDIES

公募
プログラム

<http://www.jcas.jp/>



学会連携プログラム

学会連携プログラムは、学会を中心に加盟組織を横断する形で企画実施される研究企画を支援します。今日では、多様な経歴や背景を持つ人々による研究活動が増えつつあり、特に地域研究では大学の外で行われている調査研究も重要になってきました。このような状況では大学の内と外の研究をつなぐことが重要な課題となるため、経歴や年齢によらず自らの意思によって参加できる学会の役割が重要になります。

学会連携プログラムでは、JCASに加盟する学会どうし、あるいは学会とほかの加盟組織が共同でパネルやシンポジウムを企画実施することにより、単独の学会で十分にカバーできないような他地域の専門家の参加を得て地域横断的な比較検討が進められるような研究企画を支援します。